

【質問3】中学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人と向き合うことができる。</li> <li>空いている時間が都内より多いので、授業研究等がしやすい。</li> <li>自然が豊か。</li> <li>クラスが単級のため、授業での失敗が子供の学力に直結する。</li> <li>卒業生が会いに来てくれたこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事に忙殺される時期があり、子どもたちが忙しすぎる。</li> <li>保護者の学校に対する考え方が様々で、対応に苦慮することがある。特に学力に関して。</li> <li>塾などが基本的にないため、学校での勉強がそのまま子供たちの学力を左右してしまう。そのため、教師の力量に左右されてしまう。</li> <li>基本的に3年間で若い先生は異動してしまうため、地域と学校の信頼関係がなかなか築けない。</li> <li>教科によっては、年配の先生だけが島内異動を繰り返しており、新しい風が全くと言って良いほど入らない。</li> <li>部活ばかりに力を入れている教員が多いこと。</li> <li>若手教員(新規採用、2年目)に対して、組織的な教育・指導をする体制がないこと。</li> <li>何かを変えていこうとすると、「余計なことをするな」という雰囲気も教員にも地域にもあること。</li> </ul>
大島町	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数できめ細やかな指導が可能であること。</li> <li>素直な生徒が多いこと。</li> <li>自主性が育っていること。</li> <li>生徒や保護者、地域の方々など親切で、温かい人が多いこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試競争がなく、学習意欲が希薄。</li> </ul>
大島町	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地手当がもらえること。</li> <li>歩いてすぐ海に行けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上が課題と挙げながら、町行事が多く、その町行事に暗黙の了解で学校は参加しなくてはならないため、子どもたちが疲弊してしまい、勉強時間の確保が疎かになってしまっていること。</li> <li>教員数も少ないため、分掌の兼務が多く、教職員一人ひとりの仕事量の多さに課題がある。学校行事や地域行事が多く、研修などに参加することが難しい。</li> <li>改善や向上を試みて発案、意見を述べても「今までもこうだったから」「島だから」のひと言で終わってしまうこと。</li> </ul>
大島町	主任	男	40代	<p>海のきれいさには感動しました。どちらかといえば海よりも山が好きな方でしたが、今では海の魅力に圧倒されています。ですが、大島には山もあるので本当に興味が尽きません。</p> <p>授業の点では、人数が少ないので小回りが利くことが嬉しいです。実験や観察を行うとき、生徒が40人程度だと目が届かないことがあります。が、今の人数であればすべての班を見ることができ、今まで以上に詳しく授業を行うことができていると思います。</p>	<p>人数が少なく、競争がないことかと思えます。また、高校も必ず入学できるということもあり、学習をおろそかにしてしまう生徒がいることも確かです。</p>

【質問3】中学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】	【質問】
利島村	教諭	男	20代	<p>島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児に参加することができます。自分の時間が多くもてます。</li> <li>・少人数ならではの生徒や保護者との距離感が楽しく嬉しいものです。</li> </ul>	<p>島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団性、競争意識が育ちにくい。とくに中学生にとっては下の子と過ごすことが多く、中学生のみで行動することが少ない。</li> <li>・副担任が多く内地の学校とは違った気の使い方が必要。一人学級での人間関係の構築。</li> </ul>
新島村	教諭	女	20代	<p>・学校全体が1つの集団として、アットホームな雰囲気である。(生徒と教員、教員同士等)</p> <p>・生徒数が少ないので、様々な指導法に挑戦することができる。</p> <p>・各学年1クラスしかなく、全学年の授業を受け持つので、全校生徒と関わることができる。</p> <p>・休日には、海に入ったり、キャンプをしたりできる。</p> <p>・生活を共にしているので、教員同士の仲が良い。困ったときにはお互いに協力し合える雰囲気である。</p> <p>・4年目残ることに決めた時、保護者の方や島で暮らしている先生方が喜んでくれた。</p> <p>・環境が変わることによって、今までの自分にはなかった考え方に触れることができ、自分自身の成長を実感することができた。</p> <p>・2校目の教員が多いので、数年間の赴任期間の中で指導される立場から指導する立場に変わっていく。その中で、内地の学校にいるときよりも早い段階で責任ある立場を任せてもらえなので、学ぶことは多い。</p>	<p>・入試の点数に関わらず、全員島内の高校に進学することができることを、親を含め多くの大人が生徒に伝えてしまうので、学習に対する危機感が希薄である。</p> <p>・島全体で決められている、多校種にまたがる行事が多く、自分の学校だけでできる行事が少ない。</p> <p>・単学級なので、クラス対抗の行事が組めない。また、学年ごとに人数が違うので学年対抗も難しい。</p> <p>・『高校進学』以外の、学習意欲を向上させる目標設定が難しい。</p>
神津島村	主任	女	30代	<p>・自然豊かな地域の特性や環境を活用した学習活動ができる点は、とても魅力的だと思います。</p> <p>・同じ子育て世代の保護者の方が、私の休日の出勤日や時間外勤務の際に快く子供の面倒を引き受けてくださったり、心配して声をかけてくださったりした時にはとてもありがたく、うれしかったです。</p>	<p>・豊かな環境や、地域の特性、人材などを十分に活用しきれないこと。短期間での異動者が多く、ノウハウや工夫などが蓄積されにくいこと。</p> <p>・夫や実家が遠方のため、平日の勤務が4時45分、保育園は平日のみ5時までで、夜に催される村の会議や休日出勤の際の育児のお願い先を見つけること、休日の勤務と保育園行事が重なっている場合(小中の重なりを避けているものもあると思いますが。)</p> <p>・受けた研修がなかなか受けられないこと。</p> <p>・保(幼)・小・中での連携の難しさ。</p> <p>・島内では専門性に関わる雑談、相談、助言を得る機会が極端に少ないこと。</p>
	教諭	女	40代	<p>・先生方も若く意欲的で前向きな方々が多いので赴任して良かったと感じている。</p> <p>・少人数での授業の難しさや楽しさ。児童生徒も含め島の方々が、着任したばかりの私たちに優しく接してくれる。声をかけてくれる。名前を覚えてくれた。職員が互いを支えあえる関係にある。些細なことにも、感動できる心のゆとりができた。</p>	<p>・まだ日が浅いので、分かっているわけではないが、異動が多く系統立てた指導がしにくいであろうと推測されること。</p> <p>・3年担任で進路の関係で3月29日まで出勤しつつ、早めに異動の荷物や引っ越し手続きをする必要があったこと。(赴任前に教えていただいていたが、準備を早くからすることは困難で、引っ越してからしばらく家電が届かなかったこと。)</p>